

主日礼拝

2023年12月31日
午前10時30分

前奏 「古き年は過ぎ去りぬ」（即興）

参集 （報告・紹介・予定）

招詞

「エッセイの株からひとつの芽が萌えいで
その根からひとつの若枝が育ち
その上に主の霊がとどまる。
知恵と識別の霊
思慮と勇気の霊
主を知り、恐れ敬う霊。
彼は主を恐れ敬う霊に満たされる。
目に見えるところによって裁きを行わず
耳にするところによって弁護することはない。
弱い人のために正当な裁きを行い
この地の貧しい人を公平に弁護する。
その口の鞭をもって地を打ち
唇の勢いをもって逆らう者を死に至らせる。
正義をその腰の帯とし
真実をその身に帯びる。」

(イザヤ書 11:1~5)

頌栄 27 「父・子・聖霊」

ちち子せいのひとりの主よ、さかえち
からはただ主に あれ、とこしえまで。

アーメン。

リタニー 「神さまからの贈り物」

司式者：神さま、
みんな：わたしたちの神さま、
司式者：だれも知らないところで、
神さまの奇跡がおこりました。
みんな：だれも気にとめないところで、
神さまの奇跡がおこりました。
司式者：男の子が生まれる、
インマヌエルと呼ばれて。
みんな：男の子が生まれた、
名前はイエス。
司式者：この小さいいのちが神さまからの
贈り物、
みんな：飼いやおけの赤ちゃんが
神さまのクリスマスプレゼント。
一緒に：神さま、ありがとうございます。
アーメン。

祈禱

献金

主の祈り

天にまします我らの父よ、
ねがわくは み名をあげさせたまえ。
み国を来させたまえ。
みこころの天になるごとく
地にもなさせたまえ。
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。
我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、
我らの罪をもゆるしたまえ。
我らをこころみにあわせず、
悪より救い出したまえ。
国とちからと栄えとは限りなくなんじのもの
なればなり。
アーメン。

賛美 32 「キリエ・エレイソン」

キリエ エレイソン キリエ エレイソン
しゅよあわれみ しゅよあわれみ

キリエ エレイソン
しゅよあわれみ

キリエ・エレイソン キリエ・エレイソン キリエ・エレイソン
しゅよ、あわれみを しゅよ、あわれみを しゅよ、あわれみを

聖書 マタイによる福音書 2:1~12

新約(新共同訳) p2

1 イエスは、ヘロデ王の時代にユダヤのベツレヘムでお生まれになった。そのとき、占星術の学者たちが東の方からエルサレムに来て、2 言った。「ユダヤ人の王としてお生まれになった方は、どこにおられますか。わたしたちは東方でその方の星を見たので、拝みに来たのです。」3 これを聞いて、ヘロデ王は不安を抱いた。エルサレムの人々も皆、同様であった。4 王は民の祭司長たちや律法学者たちを皆集めて、メシアはどこに生まれることになっているのかと問いただした。5 彼らは言った。「ユダヤのベツレヘムです。預言者がこう書いています。6 『ユダの地、ベツレヘムよ、お前はユダの指導者たちの中で決していちばん小さいものではない。お前から指導者が現れ、わたしの民イスラエルの牧者となるからである。』」

7 そこで、ヘロデは占星術の学者たちをひそかに呼び寄せ、星の現れた時期を確かめた。8 そして、「行って、その子のことを詳しく調べ、見つかったら知らせてくれ。わたしも行って拝もう」と言ってベツレヘムへ送り出した。9 彼らが王の言葉を聞いて出かけると、東方で見た星が先立って進み、ついに幼子のいる場所の上に止まった。10 学者たちはその星を見て喜びにあふれた。11 家に入ってみると、幼子は母マリアと共におられた。彼らはひれ伏して幼子を拝み、宝の箱を開けて、黄金、乳香、没薬を贈り物として献げた。12 ところが、「ヘロデのところへ帰るな」と夢でお告げがあったので、別の道を通して自分たちの国へ帰って行った。

賛美 こ) 78 「とおくのひがしから」

1. とおくの ひがしから らくだに またがって
2. しずかに ふけるよる ひつじも ねむるころ

たびする は かせ ようやく ユダヤのち
てんから こ えが ひびいた ベツレヘム

みそらに かがやいた ほしの ひ か りの
「かみには さかえあれ せかいに へ いわ

ふしぎな みちびきで うれしい し らせ -
ひとには めぐみあれ」 うれしい し らせ -

もつやく にゆうこうと こがねの たからもの
よろこぶ ひつじかい なかまと つれだって

しゅイエスに さ さげ いわいの しるしです
まぶねの な かの しゅイエスに ごあいさつ

- | | |
|---|--|
| 1 遠くの東から らくだに またがって
旅するはかせ ようやく ユダヤの地
み空に かがやいた 星の光の
ふしぎな みちびきで うれしい 知らせ
もつやく にゆうこうと こがねのたからもの
主イエスにささげ いわいの しるしです | 2 しずかに ふける夜 羊も ねむるころ
天から 声が ひびいた ベツレヘム
「神には さかえあれ 世界に 平和
人には めぐみあれ」 うれしい 知らせ
よろこぶ羊かい なかまとつれだって
まぶねの中の 主イエスに ごあいさつ |
|---|--|

説教 「小さなしるしに導かれ」

賛美 258 「まきびとひつじを」

The first Nowell the angel did say
詞：イギリス・キャロル、18世紀

THE FIRST NOWELL
曲：イギリス・キャロル、17世紀

ま - き - び - と ひ - つ - じ を
は - じ - め - て て - ん - し は

み - ま - も る - そ の - よ る、
ノ - エ - ル を - つ た - え た。

(くりかえし)
ノ - エ ル、ノ - エ ル、 ノ - エ ル、 ノ エ ル、

主 イエ ス は - う ま - れ た。

- | | |
|---|--|
| 1 まきびとひつじを 見守るその夜、
はじめて天使は ノエルを伝えた。
ノエル、ノエル、ノエル、ノエル、
主イエスは生まれた。 | 3 博士は輝くその星たよりに
はるばるまぶねの 主イエスを訪ねた。
ノエル、ノエル、ノエル、ノエル、
主イエスは生まれた。 |
| 2 神の子主イエスは まずしい姿で
この世に來られて まぶねに生まれた。
ノエル、ノエル、ノエル、ノエル、
主イエスは生まれた。 | 4 喜びあふれて 東の博士は
主イエスを拝んで 宝をささげた。
ノエル、ノエル、ノエル、ノエル、
主イエスは生まれた。 |
- 5 われらもこよいは 歌声合わせて
平和をもたらす 主イエスをたたえよう。
ノエル、ノエル、ノエル、ノエル、
主イエスは生まれた。

※「ノエル」は「クリスマスの歌・しらせ」の意味。

派遣

司式者 主は言われます。
「わたしは誰を遣わすべきか。」
会衆 わたしがここにおります。
わたしを遣わして下さい。

祝祷

アーメン

アーメン アーメン アーメン

後奏 「アレルヤ」(即興)

司式	大代 恵
説教	向井 希夫牧師
奏楽	佐々木 悠

※お立ちになるのが困難な方は、
座ったままで礼拝をお守り下さい。